

1. 研究課題名：アジア地域を含む低炭素型サプライチェーンの構築と制度化に関する研究

2. 研究代表者氏名及び所属：

國部克彦
(神戸大学)



3. 研究実施期間：平成 23～25 年度

4. 研究の趣旨・概要

低炭素社会を実現するためのこれまでの研究や政策の対象は企業や製品および技術が中心で、複数の企業間にわたる製造プロセスのサプライチェーンを対象とする低炭素化のための活動や政策は特にアジア地域ではこれまで十分に展開されておらず、ここに大きな問題が存在している。

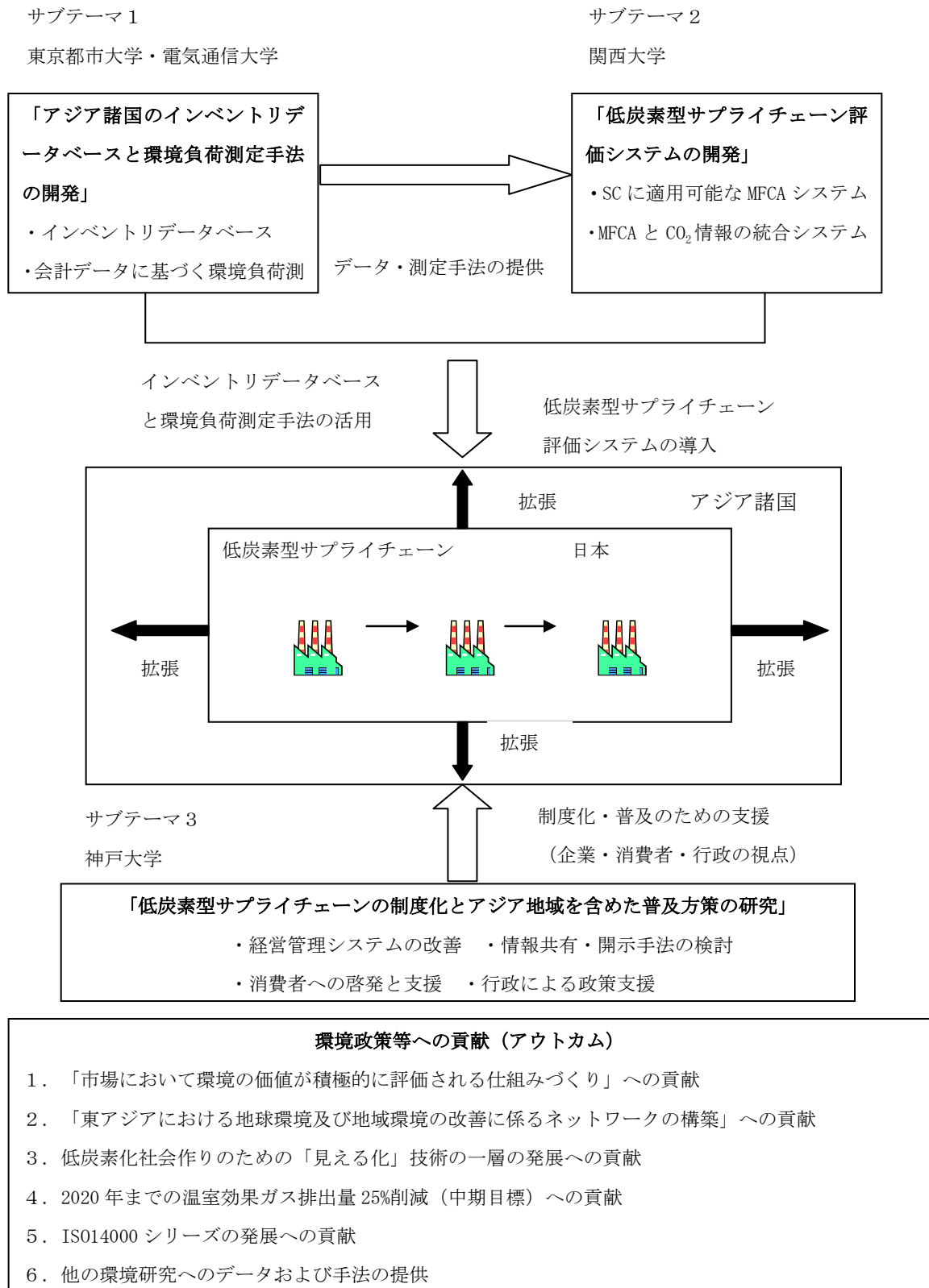
本研究は、サプライチェーンを低炭素化するために必要なサプライチェーンの環境負荷の測定・評価技術を開発して、低炭素型サプライチェーンをアジア諸国を含む地域で制度化するための方法を研究する。

本研究で開発される技術を活用して、日本およびアジア地域でのものづくりの低炭素化を促進し、温室効果ガス排出量および環境負荷の低減に貢献することを目的とする。

5. 研究項目及び実施体制

- ①アジア諸国のインベントリデータベースと環境負荷量測定手法の開発（東京都市大学、電気通信大学）
- ②低炭素型サプライチェーン評価システムの開発（関西大学）
- ③低炭素型サプライチェーンの制度化とアジア地域を含めた普及方策の研究（神戸大学）

6. 研究のイメージ



注: SC(サプライチェーン)